

(様式1)

令和4年度 学校経営計画

四條畷市立岡部小学校

校長 木村 実

1 学校経営方針

小学校学習指導要領では、新しい時代に必要となる育成すべき資質・能力を「学びに向かう力・人間性等の涵養」「生きて働く知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」としている。

これからの時代を生きる子ども達が「人間としての強み」である「新しいことを発想する力」「自分の考えを相手に伝える表現力」「役割を考え自発的に行動する力」「コミュニケーション能力」などを身に付け、子ども達自らが、自分の人生を切り拓き、生き抜いていく力を培っていくことが求められている。

また、GIGAスクール構想に基づく積極的なICT機器の活用により、多くの情報から主体的に必要な情報を収集し、自ら情報を発信する情報活用能力の育成や、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実など教育の質の向上と、子ども自身がこれからの未来社会を生きるために不可欠な資質、能力を身に付けることも求められている。

そのようななか、学習指導要領、大阪府教育振興基本計画、四條畷市教育振興基本計画の趣旨を踏まえ、知・徳・体バランスのとれた「生きる力」を育む教育活動を展開し、未来にはばたく子ども達の育成に努めたい。

また、今年度も引き続き、大阪府教育庁の「確かな学びを育む学校づくり推進事業(TM)」の研究指定を受け、算数科を中心に児童の学力向上をめざした授業改善に取り組む。全教職員で力を合わせ、効果的な指導方法の模索や授業実践など、意欲的な教育活動の展開に努め、子ども達が安心して生き生きと活動し、日々成長することができる授業の実現に向けて努力したい。そして、研究の成果を広く発信していく。

2 めざす学校像、子ども像、教師像(中期目標)

★めざす学校像	○学校教育目標「健康で よく考え 仲良く がんばりぬく子ども」の育成 ・子どもが生き生きと活動する安心安全な学校 ・保護者や地域とともに子どもを育む学校 ・教職員が互いに切磋琢磨し高め合う学校
★めざす子ども像	○何事にも自分の考えを持ち、主体的・意欲的に取り組み、思いを表現できる子 ○「お・か・べ」・・・「お」もいやる 「か」んしゃする 「べ」ストをつくす ・相手の気持ちを考える優しく豊かな心の子 ・自分の弱さに負けない強くたくましい心の子
★めざす教師像	○子どもの実態を的確に把握し、適切な指導ができる教師 ○主体的に問題を捉え、広い視野で解決できる教師 ○人間愛にあふれ、明るく前向きに職務を遂行できる教師

3 学校の現状(よさと課題)

(1) 子どもたちの実態

本校の子ども達の強みは、元気で優しく素直で、任せられたことは責任を持ってやり切る力があることで

ある。そんな長所を持つ児童に対し、さらに求めたいのは、リーダーシップを発揮したり、自分で考えて行動したり、自分の思いを表現したりすることである。

(2) 子どもたちを取り巻く環境（新型コロナ対策を意識した「新しい生活様式」のもと）

①教育環境

教育環境には恵まれている。ハード面では、明るい教室、開放的な廊下、各教室には空調設備や大型テレビが配置され、個人用タブレットPCが配布されている。ソフト面においても、子ども達は教職員の指導のもと、校内の学習規律を大切に、落ち着いた雰囲気での学習環境の中、安心して日々の学習活動に取り組むことができている。

②地域

地域には学校に協力的な方が多い。子ども達の地域行事への参加や社会見学の受け入れや、見守り活動など様々な方面から、本校の教育活動を支えていただいている。学校評議員の皆様などを年に数回学校にお招きし、地域での子ども達の様子について情報を交換している。

③組織（教職員、PTA、保護者）

PTA組織は役員を中心にまとめ、役割を分担し、協力して各活動に取り組んでいる。また、毎年秋のPTA行事「岡部の集い」に向け、子ども達を楽しませようと、クラスごとに工夫を凝らした模擬店の企画を考え、保護者同士のつながりを深めている。そこに、教職員が加わり、子ども達を中心にすえた大人のつながりが深まっている。

4 今年度の達成目標、具体的な方策

目標設定区分Ⅰ『学校経営』

A 今年度の成果目標		達成基準（各種調査、アンケート等）
学校の教育力の充実		市授業改善に関するアンケート 学校教育自己診断アンケート
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
全学年での研究授業の実施	100%	「確かな学び」(TM)加配の担当教員を中心に、「四條畷市授業スタンダード」を踏まえた、校内の授業改善に努め、校内研修のテーマである「自分の思いを言葉で伝えあえる子ども達の育成」をめざす。市教育委員会指導のもと研修の成果を府および市域に発信していく。
授業はわかりやすく楽しい(児)	(児)90%	
学校に行くのが楽しい(保)(児)	(児)90% (保)92%	・困っている児童に寄り添い、悩み事を共に考え、解決できる、児童との信頼関係の構築 ・トラブルに対し、自己の行動を振り返り、今後どうすれば回避できるかを考えることができるような声掛けを意識し、児童自らの成長を促す生徒指導を行う。 ・児童の成長を評価し、自己肯定感の向上につなげていく
担任等はお子さんの気持ちを理解し、家庭と適切に連携を図っている(保)	(保)95%	

自分を大切にすること や相手への思いやり、 感謝について道徳など で学んでいる（児） （保）	（児）98% （保）96%	・各学年が道徳授業を校内に発信することで、全教員の授業力の向上を図り、児童の心の教育の充実につなげる。 ・保護者と連携した支援学級入り込み授業の充実により、「ともに学び、ともに育つ」集団づくりの推進を図る。
--	------------------	--

※(児)児童アンケート、(保)保護者アンケート、(教)教員アンケートより

目標設定区分2 『学校組織の運営』		
A 今年度の成果目標		達成基準(各種調査、アンケート等)
学校組織力の向上と運営体制の見直し		学校教育自己診断アンケート
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
各分掌や学年間の連携は円滑かつ有機的に機能している	(教)100%	・学校経営方針や教育目標などの周知を行い、学校運営の方向性の共有化を図る。 ・今日的な課題を視野に、校内組織体制の見直しを行う。
様々な問題事案を未然に防止するため、生活指導部が中心となって取り組んでいる	(教)100%	・自他の生命を大切にす教育、自尊感情を育てる教育などの充実を図る。 ・いじめ、虐待、不登校などの生活指導関係および感染症やアレルギー対応、自然災害、交通安全などの保健安全指導関係の対応体制・方法の共有と見直しを行う。 ・福祉部局との連携の推進を視野に、適切な時期にケース会議を行う

目標設定区分3 『人の管理・育成』		
A 今年度の成果目標		達成基準(各種調査、アンケート等)
教職員の資質の向上		学校教育自己診断アンケート
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
初任者など経験の浅い教職員を学校全体で育成している	(教)90%	・日常的なOJTの推進 ・教職経験年数に応じた各キャリアステージで求められる教員像を意識し、自身がめざすべき姿(教員力)の習得に努める。 ・教職経験年数の少ない教員の育成については、学校全体でチームとして組織的に行う。
サービス、不祥事の防止について、職員会議で周知徹底を図る	100%	・教職員の指導監督を適切に行い、事例を示しながら服務規律の確保を図る。 ・不祥事の発生を予防し、未然防止を図るため、関係資料を活用し校内研修を実施する。

目標設定区分4 『地域連携と渉外』		
A 今年度の成果目標	達成基準(各種調査、アンケート等)	
地域の教育コミュニティづくりと家庭教育への支援	学校評議員会での成果や課題に対する助言の共有内容 学校教育自己診断アンケート	
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
ホームページ更新	月1回以上	・学校だよりやホームページを活用し、学校の様子や取り組みなど広く地域に発信していく。
学校運営協議会の設置		・学校運営協議会の設置を視野に、学校評議員会の実績を参考に、今後の学校運営に係る組織の充実を検討する。
宿題を含む家庭学習では、15分×学年の時間を取組んでいる	(児)70%	・自主学習の好事例を掲示し、意欲を喚起する ・家庭教育を支援するため、家庭学習の手引き(市教育委員会)を活用し、あらゆる機会に保護者あて協力を求めている